

新たな販売戦略構築による生産振興

要約

県では県産農畜水産物の付加価値を高め、有利販売を進めるための取り組みとして、奈良県農畜水産物ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」を創設し、ブランド力の強化を図っている。そこで、この制度を活用して地域特産品の有利販売を目的に候補品目、認証基準や販路について検討した。また、生産者や法人等で新たな商品開発や販路開拓に取り組んでいるが、イベント・商談会等への積極的な参加への啓発とノウハウの指導支援を行った。

現状(背景)と課題

(現状)

- 管内のブランド認証品目 0



目標

- ブランド認証品目候補の選定 2品目
- 新たな販路拡大・開拓 2商品

活動内容

①品質によるブランド認証候補品目検討

- 対象者：曾爾村トマト部会、曾爾村法蓮草部会
- ブランド認証制度導入に向けた糖度測定方法の検討。
- 継続した糖度調査と結果説明会の開催。

②新たな販路拡大・開拓

- 県キッチンカープロジェクトへの食材提供、シェフと生産者との意見交換会を支援。
- 県内外のイベントや商談会への出展とPR活動を支援。
- 食品表示法食品表示基準に沿った栄養表示対応を指導。また、フードコーディネーターと連携したレシピやパッケージの改良について助言・指導を実施。

成果

- ブランド認証候補品目の選定 1品目
- 新たな販路拡大・開拓 30商品



非破壊糖度計によるトマトの糖度測定



フードコーディネーターによるレシピ指導

東部農林振興事務所農業普及課
担当：農産物ブランド推進係 櫻井、平岡
担い手・農地マネジメント係 小島
奈良県農畜産物ブランド認証推進事業

普及活動のポイント

①品質によるブランド認証候補品目検討

- ・非破壊糖度計を用いたトマトの糖度測定を生産者ととも実施。
- ・トマト、大和寒熟ほうれん草の収穫期間中、糖度測定を行い、その推移をデータ化。

②新たな販路拡大・開拓

- ・イベントや商談会の実践の場への積極的な参加を促すとともに、普及指導員が実践の場での直接指導を行い、生産者にノウハウを教えることで、今後に向けて積極的に活動できるよう意識啓発を行った。

対象の変化

- ・生産者も加わった糖度測定やイベント・商談会への参加を通して、前向きに取り組む生産者も現れている。

対象者からのコメント

- ・通常のトマトを出荷するだけでなく、高糖度トマトなど特徴のあるトマトの出荷を望む。そのためにも、県には曾爾産トマトのブランド力向上のために力を入れてもらいたい。また、大和寒熟ほうれん草についてもプレミアム品の別販路設定など工夫をお願いしたい。(市場関係者)
- ・これまで商談会の存在は知っていたが、声をかけられて参加することにした。商品やPR方法の弱点をバイヤーに指摘され、改善方向など今後の課題が明確になった。(6次産業化事業者)

これからの活動ビジョン

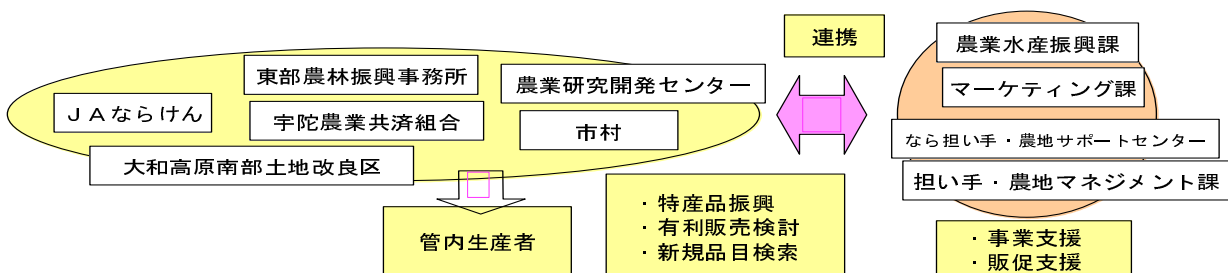
①品質によるブランド認証候補品目検討

- ・市場関係者の意見も参考にしながら、継続して取り組んでいく。

②新たな販路拡大・開拓

- ・積極的な活動を引き続き支援し、地域特産品の有利販売につながるよう継続して支援活動を行っていく。

活動体制



用語解説

大和寒熟ほうれん草

奈良県が認定する大和野菜の一つ。

ほうれん草は栽培中に寒さにあたることで、生育は遅くなるが糖含有量が高まる。大和寒熟ほうれん草は、品種、栽培方法、栽培地域、糖度の測定等について規定した栽培マニュアルに基づいて生産出荷される。

